

Doc.No: NR020528

2002年5月28日

ビルドアップ多層基板対応のプリント基板製造用レーザープロッターを販売

大日本スクリーン製造株式会社(本社:京都市上京区)の電子機器カンパニー(社長:葛川幸隆)は、プリント基板を製造するためのマスターパターンフィルム作成用レーザープロッター「ラスターグラフRG-8000」を2002年6月3日から販売します。

オフィスのみならず一般家庭においてもIT化が進む中、コンピューター、移動体通信機器、デジタル家電などデジタル機器の需要はますます拡大しています。それに対応し、高機能電子部品を搭載したプリント基板の生産量も増加傾向にあり、量産性のあるビルドアップ多層基板がシェアを伸ばしつつあります。

このたび販売する装置は、高密度で高精度な配線パターンが描画できるラスターグラフシリーズのエコノミータイプで、ビルドアップ多層基板*用の高精細マスク作成に特化したもの。回路の設計に用いられるCAD/CAMシステムから受け取ったパターンデータを高速変換し、独自に開発した多チャンネルビームを採用することで、高速にマスク用フィルムに露光でき、当社従来機に比べ生産性を1.3倍に向上させました。また、操作パネルにタッチパネル方式を採用するなど操作性を考慮するとともに、インターネットを使い、遠隔地からのネットワーク管理も可能です。

* この装置は6月5日から東京・有明ビッグサイトで開催されるJPCA Show 2002で実機展示します。

* ビルドアップ多層基板とは、銅張積層板にエッチング法で回路を作り、絶縁層を形成したのち、無電解銅メッキを行うことで多層構造を形成したプリント基板。

< 販売開始予定日 >

2002年6月3日

< 国内希望販売価格(消費税別) >

4,000万円

< 初年度販売台数 >

30台



RG-8000

本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室: Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目

< 特長 >

1. インテグレーションCAMシステムCI-7000を介して、業界で使用されているRS-274X、ODB++、ガーバー準拠フォーマットなどを簡単に取り込める。配置情報などの作成をCAD/CAMシステム側で処理可能。
2. 描画データの内部演算を0.01ミクロン単位で行うことにより、フォーマット変換後の量子化誤差を低減。CADデータにより忠実な画像を再現。
3. 描画パターンに応じた最適な描画精度で高速出力が可能。
10 μ mビーム/10 μ mピッチ、10 μ mビーム/5 μ mピッチ、10 μ m/2.5 μ mピッチ
4. フィルム搬送部を高速化するとともに、新規ローディング機構を採用することにより、フィルムにストレスを与えず、高性能な寸法安定性を実現可能。
5. 記録ドラム加工方法を改良し、超高精度ドラムを実現。
6. 光源には、長寿命、低消費電力の半導体レーザーを採用。イニシャルコストとランニングコストを低減。
7. 出力部での待ち時間を発生させないように、描画中に並行して最大4つまでのデータ変換処理が可能。

< 紙誌面掲載用お問い合わせ先 >

大日本スクリーン製造株式会社
電子機器カンパニー 企画管理部企画課(上田)
TEL:075-417-2632